

輸送動向について(2月分)

平成21年3月

1. 輸送概況

今月は、上旬及び中旬に東日本地区を中心とした強風による輸送障害が発生したほか、下旬には北日本地区での暴風雪による輸送障害が発生し、高速貨83本が運休した。

荷動きについては、景気減速の影響を受けた製造業各段階で、売り上げ減および在庫圧縮に向けた減産体制が一段と強化された他、前年が閏年であったこともあり、前月を更に下回るきわめて低調な実績で推移した。

品目別にみると、コンテナ貨物では、自動車部品のほか、化学工業品、化学薬品、紙・パルプ、農産品・青果物などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比77.0%となった。化学工業品、化学薬品、紙・パルプは年度末に向けての適正在庫水準を目指す減産体制が継続されたことにより、大きく前年を下回った。特に、自動車部品は、メーカー各社が在庫調整を急速に推し進めている影響を強く受け、前年の50%を下回る実績となった。

車扱貨物では、石油、セメント・石灰石などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比72.2%となった。石油は1月の価格の下げ止まりによる買い溜めの反動および全国的に気温が高めに推移したことにより灯油の消費が大きく落ち込んだほか、生産活動の低迷の影響も受けた重油、軽油の減送が重なり、前年を大きく下回った。また、セメント・石灰石は建築需要の低迷及び工場の減産により、減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,479	1,922	77.0%	20,424	21,248	96.1%
車 扱	901	1,248	72.2%	9,945	11,664	85.3%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	171	216	-45	79.2%
	化学工業品	130	182	-52	71.4%
	化学薬品	98	145	-47	67.6%
	食料工業品	239	254	-15	94.1%
	紙・パルプ	230	309	-79	74.4%
	他工業品	104	153	-49	68.0%
	積合せ貨物	168	199	-31	84.4%
	自動車部品	37	82	-45	45.1%
	家電・情報機器	30	32	-2	93.8%
	エコ関連物資	30	34	-4	88.2%
	その他	242	316	-74	76.6%
	コンテナ計	1,479	1,922	-443	77.0%
車 扱	石油	617	840	-223	73.4%
	セメント・石灰石	101	144	-43	69.9%
	車 両	102	137	-35	74.2%
	その他	82	127	-45	64.8%
		車 扱 計	901	1,248	-347

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)